



「税に関する作文」の入賞者決まる！

租税教室の一環として次代を担う児童・生徒に税への理解と関心を持ってもらうことを目的とした「税に関する作品」の募集事業が、羅臼町租税教育推進協議会・根室管内「税を考える週間」推進協議会構成団体の主催により実施されました。

本校からは、1年生が羅臼町「高校生の税に関する作文」に応募し、5名が入賞しました。

羅臼町立春松小学校の租税教室について
～本校3年生、鈴木幹太君が講師として授業をしました～

- 1、日時 令和3年11月30日(火) 11:10～11:55
- 2、場所 羅臼町立春松小学校 6年生教室
- 3、講師 鈴木幹太(北海道羅臼高等学校3年生)
- 4、共催 (公社)根室地方法人会青年部会羅臼支部
- 5、内容等 「税の大切さについて」高校生が講師となり、小学6年生におこなう。
この租税教室を通して、小学生に税の大切さを知ってもらう。



上：授業の様子(生徒の反応は最高でした)
下左：1億円分の1万円札の大きさを確認している様子
下右：1億円の重さを体験している様子



- 最優秀賞
田中葵那さん
優秀賞
小林璃衣さん
吉田颯大さん
佳作
松山賢人さん
三河里奈さん

★税に関する作品展
12/1(水)～12/7(火)
らうすぼ2階
見に来て下さい。

「消費税について」

私たち学生が1番関わりがある税は、消費税です。消費税は平成元年(1989年)から導入され、税率は3%でした。しかし、令和元年度(2019年)には10%に増税してしまいました。消費税が導入された主な理由は、税収の偏りを解消すること、物品税の問題点を解消すること、少子高齢化社会に必要な福祉の財源を確保することの3つです。

消費税が3%から5%(1997年)、5%から8%(2014年)、8%から10%に3回増税された理由は2つあります。1つ目は、少子高齢化の進行によって必要となる社会保障制費を確保するためです。2つ目は、不景気でも安定的な税収が見込めるためです。

消費税の増税には、メリットとデメリットがあります。メリットとデメリットをそれぞれ2つずつ挙げたいと思います。

増税のメリット1つ目は、社会保障の充実化です。少子高齢化が進む今、待機児童の受け入れ施設や育児休暇の取得支援、育児休暇中の生活支援などがあります。また、高齢者の医療費負担の軽減、施設などの利用、入居支援などがあります。2つ目は、道路の整備、橋やダム建設など、様々な公共施設への投資が増えることです。道路が舗装されたり、空き地に公園など子どもの遊ぶ施設に使われたりしています。私たちが楽しく安全に生活できているのも、消費税のおかげです。

増税のデメリット1つ目は、買い物などをするときに支払う金額が増えることです。少しではありますが、私たち自身にも金額的な負担が増えます。2つ目は、消費活動の低下です。買い物をするときに、支払う金額を気にするので消費活動の低下が考えられています。消費活動が低下することで企業にもダメージを与えられます。

増税にはメリットとデメリットがありますが、この先ずっと付き合っていくものなので、消費税や増税に悪いイメージをもちず、生活をしていきたいと思っています。